

にっぽんこうぎょうだいがく
日本工業大学

1 講座名・キャンパス

(1) 講座名

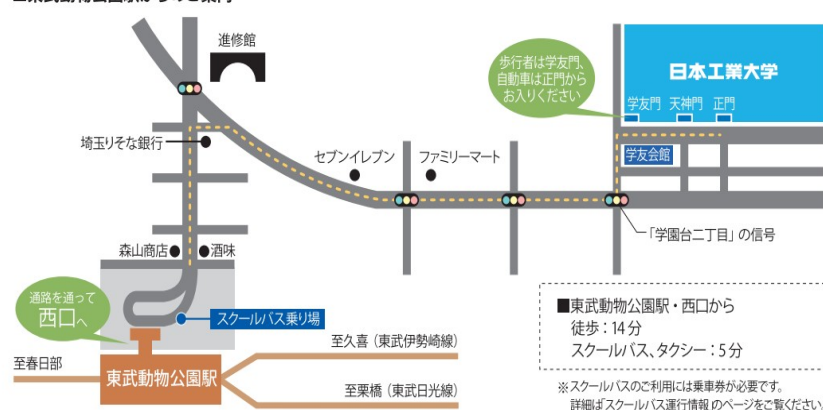
科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	公開定員
環境とエネルギー	秋学期 (令和8年9月～ 令和9年1月)	水	1限	9:00～10:40	10名
音響・画像処理		木	2限	10:50～12:30	10名
電力発生技術		月	3限	13:20～15:00	10名
感性情報工学		水	3限	13:20～15:00	10名
経営情報システム		水	1限	9:00～10:40	10名
世界遺産とアジアの建築		木	2限	10:50～12:30	10名
健康科学		火	1限	9:00～10:40	10名
会社の仕組みと経営の仕組み		金	2限	10:50～12:30	10名

*この実施予定は6月19日現在のものです。社会情勢や諸般の事情により、変更や中止になる場合もありますので、ご了承ください。

*本学の上記講座のお申し込みにあたっては、本学 [生涯学習センターホームページ](#)に掲載する「令和8年度秋学期要項」を熟読のうえ、お申し込みください。

(2) キャンパス

■東武動物公園駅からのご案内



■新白岡駅乗車場所



東武動物公園駅西口より、徒歩14分、スクールバス5分。

JR宇都宮線・新白岡駅東口より、スクールバス12分。 *スクールバス料金: 100円/片道

スクールバスの運行情報・ご利用につきましては

[スクールバス運行情報・乗り場案内](#) | 実工学教育の日本工業大学 (nit.ac.jp) をご確認ください。

2 受講料・テキスト

- (1) 受講料 : 1 科目につき 10,000 円
 (2) その他 : 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます(書名、購入方法等は別途ご案内します)。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 **令和 8 年 8 月 31 日 (月)** (消印有効)

- (2) 申込先

〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1
 日本工業大学 生涯学習センター
 電話 : 0480-34-4111 (代表)
 E-mail: shougai@nit.ac.jp

- (3) 申込方法

以下の事項をご記入のうえ、E-mail または官製はがきでお申込みください。
 (電話での受付はしていません)

- ① 〒 住所 ② 氏名 (ふりがな) ③ 年齢
 ④ 電話番号 ⑤ 受講希望科目 (複数科目の選択可)

- (4) 受講手続

受講お申込を確認後、本学生涯学習センターより通知書を送付いたします。
 この通知書を熟読のうえ、所定の期日までに受講料の振込み等、受講手続を行ってください。

- (5) その他

本学が開講する開放授業講座を、今年度秋学期(後期)から新たに受講される方におかれましては、第1回講義に先立ち、受講いただくにあたっての諸説明を目的としたオリエンテーションを開催します。日時等の詳細は、受講手続をいただいた方へ個別に連絡いたします。

4 各科目の概要及び担当教員

科目名 (担当)	授業科目の概要
環境とエネルギー (丹澤 祥晃 教授)	地球温暖化防止と持続可能な社会の構築に向け、最新の環境・エネルギー技術を学ぶ。太陽光・風力等の再生可能エネルギー、バイオマス、電気自動車、LED 照明、住宅の省エネ技術まで幅広く網羅する。各技術の仕組みや社会への影響を理解し、レポート作成を通じて説明能力を身につける。

音響・画像処理 (木許 雅則 教授)	コンピュータやインターネット等の通信網で送受信されるデータの多くは、テキスト、画像、音などのデジタルデータである。本授業では、これらのデータの仕組みや特徴、実際の処理方法などを学ぶ。電子情報通信系の科目群のなかでも、コンピュータや通信、信号処理等の技術で必要となる知識が得られる科目である。
電力発生技術 (竹本 泰敏 助教)	電力の発生から消費までの発電所、電気所、送電線路などの設備が結合されたシステムである電力系統のうち、電力の発生（発電）、変電について学ぶ。発電では、おもな発電種別である、水力、火力、原子力を中心に学習する。 また近年、系統導入量が拡大している再生可能エネルギー（太陽光、風力）の原理と系統連系時の課題についても講義する。
感性情報工学 (高津 洋貴 准教授)	「使いやすい」「心地よい」といった人の感性を、科学的に数値化して製品開発に活かす手法を学ぶ。データ解析、最新のテキストマイニング技術まで、人の心を可視化する実践的なスキルを習得する。ユーザーの期待を超える、次世代の「ものづくり」や「サービス設計」の視点を養う内容である。授業中に課題を一緒に行うことによって、理解を深める。
経営情報システム (辻村 泰寛 教授)	経営情報システムとは、組織の内部のオペレーションや外部のインテリジェンスに関する過去・現在・将来の情報を提供するための方法論であり、意思決定過程を援助するために、適切な時間枠の中で標準化された情報を提供することによって、組織の計画、統制、オペレーショナルな機能を支援するものである。特に、横断的組織情報システムや意思決定支援システムを中心に、DXの基礎について学ぶ。

世界遺産とアジアの建築 (樋口 諒 准教授)	本授業では、世界遺産とアジアの建築についての知識と理解を深めることを目的とする。アジアの歴史的建造物を主な対象とし、気候や風土と建築文化の関係性を踏まえながら、多様な建築遺産の保存修復事例を学ぶ。さらに、建築遺産を単に保存するだけでなく、現代社会において継承・活用していく意義を理解し、その理念とともに、保存修復や再生・活用に関する具体的な手法について専門的知識を習得する。
健康科学 (齋藤 早紀子 講師)	生涯にわたって健康で豊かな社会生活を送り、自分だけでなく、家族や周りの人たちを健康にするための知識と行動を身につけることを目的とする。本講座では、健康に関する知識の定着を図るとともに、当事者としての意識を持ってもらうために、講義に加え、ディスカッションやグループワークなどの主体的活動を取り入れる。
会社の仕組みと経営の仕組み (筒井 研多 教授)	本授業では、「会社とは何か」を起点に、経営戦略、マーケティング、人材活用など企業の目的・ルール・仕組みを学ぶ。会社（企業）を成長・発展させるために必要な、「他社との競争戦略」「ビジネスモデル」「社員のやる気と人材の活用」「マーケティング」「イノベーション」とは？実務経験豊富な教員による身近な企業を取り上げた事例解説が人気。 受講をご希望の皆様へ 詳しい注意事項はこちらの QR コードからご確認ください。 